

平成22年（2010年）第2回市議会定例会本会議（6月22日）

教育経済常任委員長報告（請願）

ただいま議題となっております平成22年請願第2号教育予算の拡充を求める意見書の提出について、教育経済常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、6月15日の会議において関係理事者から所見を聴取して、質疑を行いました。

この請願の願意は、

1. 標準定数法を改善し、国の責任において少人数学級編制を策定・実施すること。
2. 義務教育費国庫負担制度について、国負担率を2分の1に還元することを含め制度を堅持・改善すること。
3. 就学援助制度を拡充するための国の予算措置を行うこと及び奨学金制度を充実すること。
4. 学校施設整備費、教材費、図書費、旅費、学校・通学路の安全対策など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。
5. 教職員の人材確保のための給与財源を確保・充実するとともに

に勤務実態調査結果の施策への反映と実効ある超勤縮減対策を
行うこと。

であります。

主な質疑を申し上げますと、少子化が進む中での少人数学級編制
の考え方及び実施の可能性についてであります。

次いで、討論はなく、採決の結果、平成22年請願第2号は、願意
のうち3項目めの就学援助制度拡充の件、4項目めの学校施設整備
費等予算充実の件、5項目めの教職員の人材確保等の件のみ、妥当
と認め、全会一致で一部採択すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。